

3学年だより

NO 596

飛翔

令和3年2月25日



小田原市立城山中学校  
学年主任 水野喜代治

## 感謝の気持ち NO1

卒業式の練習が始まっています。卒業式の儀式の中で最も重要なのが卒業証書授与です。これは、言うまでもなく卒業証書を校長先生から受け取る儀式です。卒業証書を受け取った瞬間に中学校生活にピリオドを打つことになります。証書授与のスタートは呼名から始まります。担任の先生に名前を呼ばれる場面です。城山中学校の生徒として、名前を呼ばれる最後の場面です。あなたがたの名前を全職員を代表して担任の先生が呼名します。ですので、担任の先生は、一人ひとりの生徒の名前を心を込めて呼名します。自分の名前を家族以外の人こんなにも気持ちを込めて呼んでくれる場面は他にはないと思います。担任の先生の呼名には、城山中学校の全職員34名の気持ちが込められているのです。

あなたがたが、呼名をされる瞬間、すべての教職員は、心の中でみんなに言葉をかけています。……「頑張って高校生活を送ってくださいね。」「体に気を付けて、健康が第一ですよ。」「3年間ありがとう！いつも一生懸命だったね。感謝していますよ。」「笑顔が素敵でした。その笑顔を大切にしてくださいね。」「いつも、優しさをもって、みんなに接していましたね。先生もあなたの優しさに救われました。」「目標をもって、前に進んでくださいね。自信をもって頑張ってくださいね。」「……。それぞれの先生が、それぞれの想いを抱いて。そんな気持ちを担任の先生が代表して、あなたがたの名前を呼ぶのです。最後の先生方の呼びかけに、しっかり返事ができたらと思います。ただ名前を呼ばれたから、返事をするのではなく、体育館にあふれている想いを受け止めて「はい」という返事をしてください。また、先生の呼名を受け止めるだけでなく、お父さん・お母さんなどの保護者の方への感謝の気持ちも込めて、返事をしてください。体育館の後方で、式に参列している保護者の方は、あなたがたのしっかりした声を聴きたいと心を澄まして、見つめています。体育館の後ろまで、または、遠くにいる保護者の方に声を届かせてください。担任の先生が、精一杯気持ちを込めて呼名する。その呼名に、全力で返事を返す。その返事を生まれたての赤ちゃんを抱きかかえるような気持で、保護者の方々が聴く。呼名の瞬間に、体育館にいるすべての人が想いをかわすわけです。

3年間という月日の流れが、この呼名の瞬間に凝縮されます。緊張するでしょうが、一步、大人になって、本当の「返事」をしてみてください。担任の先生も精一杯の気持ちで呼名をしますので……。